【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第３部門第１区分
【発行日】平成23年12月8日(2011.12.8)

【公表番号】特表2011-508717(P2011-508717A)
【公表日】平成23年3月17日(2011.3.17)
【年通号数】公開・登録公報2011-011
【出願番号】特願2010-540072(P2010-540072)
【国際特許分類】
Ｃ０１Ｄ　3/16　(2006.01)
Ｃ０２Ｆ　1/60　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｃ０１Ｄ　3/16　Ｃ
Ｃ０２Ｆ　1/60

【手続補正書】
【提出日】平成23年10月18日(2011.10.18)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
・まず塩酸を用いて希薄ブライン中でｐＨ値３未満に調整し、
・この酸性化された希薄ブラインに塩化鉄（ＩＩＩ）又は他の三価の鉄イオンを添加し、
・このように予備調製された希薄ブラインを撹拌した溶解容器中に連続的に導通し、この中では塩ブラインの他に未溶解塩が存在し、
・溶解容器にバッチ式にかつ不連続的に新規塩を添加し、
・このように形成された濃ブラインを撹拌した緩衝容器中に導通し、
・この緩衝容器をｐＨ値５～８に維持し、
・この緩衝容器から濃ブライン流を連続的に取り出し、濾過し、かつ、
・添加した鉄及びケイ素を含有するフィルターケークを排出する
水性ＮａＣｌブラインからのケイ素化合物の除去法。
【請求項２】
ｐＨ値１～２を有する、塩化鉄（ＩＩＩ）又は他の三価の鉄イオンと混合した希薄ブラインを溶解容器中に導通することを特徴とする請求項１記載の方法。
【請求項３】
塩化鉄（ＩＩＩ）又は他の三価の鉄イオンも溶解容器中に添加することを特徴とする請求項１又は２記載の方法。
【請求項４】
溶解容器をジェットを用いて撹拌することを特徴とする請求項１から３までのいずれか１項記載の方法。
【請求項５】
緩衝容器をジェットを用いて撹拌することを特徴とする請求項１から４までのいずれか１項記載の方法。
【請求項６】
添加した鉄及びケイ素を含有する排出したフィルターケークをフィルタープレス中でブラインから除去することを特徴とする請求項１から５までのいずれか１項記載の方法。
【請求項７】

・塩のための溶解容器、
・溶解容器中の撹拌装置、
・溶解容器中に塩をバッチ式に添加するための添加装置、
・溶解容器中への希薄ブラインのための添加部位、
・希薄ブライン供給ライン中への塩酸のための及び塩化鉄（ＩＩＩ）又は他の三価の鉄イオンのための添加部位、
・濃ブラインのための緩衝容器、
・緩衝容器中の撹拌装置、
・溶解容器と緩衝容器との間の貫流に適した連結部、
・濃ブラインのための出口とフィルターケークのための取り出し装置とを備えるフィルター、
・緩衝容器からフィルター中への濃ブラインのための取り出し及び運搬装置
を備える請求項１記載の方法の実施のための装置。
【請求項８】
溶解容器及び緩衝容器が、オーバーフロー堰により相互に分離されている構造単位を形成することを特徴とする請求項７記載の装置。
【請求項９】
溶解容器及び緩衝容器の構造単位が浴として形成されていることを特徴とする請求項８記載の装置。
【請求項１０】
希薄ブラインの溶解容器への供給が溶解容器の底部に配置された導通部を介して行われ、これは上方に指向した開口部を穿孔又はノズルの形で有することを特徴とする請求項７から９までのいずれか１項記載の装置。
【請求項１１】
溶解容器中でジェットが、循環流が垂直軸の周囲に生じることができるように配置かつ調整されていることを特徴とする請求項７から１０までのいずれか１項記載の装置。